■令和３年度執行目標（達成状況）　健康福祉部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目（単位）	根拠計画等	R3年度実績値	R3年度目標値
健康福祉部	社会福祉課	1	**障がい者の緊急時の受け入れ体制の確保**	第６期木津川市障害福祉計画・第２期木津川市障害児福祉計画において、令和５年度末までの整備を目標として掲げている地域生活支援拠点の機能のうち、特に早期整備が求められる「緊急時の受け入れ・対応」について、圏域の事業者・関係機関と連携を取りながら、確保を行う。	一部未達成・成果小	地域生活支援拠点の多機能拠点型の機能を有する1法人と協議し、緊急時の受け入れ拠点として1か所の確保はできたが、目標設定していた2か所の確保はできなかった。今後、山城南圏域の地域生活支援拠点に関する協議を進めていく中で、地域における連携体制と併せて、緊急時の受け入れ拠点の複数確保に向けての協議を進めていく。	緊急時の受け入れ拠点（か所）	第６期木津川市障害福祉計画　第２期木津川市障害児福祉計画	1	2
健康福祉部	社会福祉課	2	**木津児童館整備計画の検討**	老朽化が進む木津児童館について、令和3年度において、耐震工事はおこなうものの施設としての機能の確保などのため、隣接する木津人権センターも含めた、複合施設も視野に今後の整備計画を作成する。	概ね達成	木津人権センター及び木津児童館の複合化整備について、両施設の機能確保・強化を図り相乗効果を最大限に生かすための基本的な方針を策定するため、施設の現状と課題の整理、施設配置（ゾーニング）計画、構造種別の比較検討、関連法令等の与条件の整理を行い基本設計書にまとめた。今後は、この基本設計に基づき、木津人権センターと木津児童館の具体的な配置、財源確保の検証、施設整備工事期間中の施設機能維持調整等を行う。				
健康福祉部	くらしサポート課	1	**「就労支援促進事業活用による自立支援」の強化**	稼働能力を有する被保護世帯に対し就労支援員の配置により専門的な就労支援を行う。また、被保護世帯の個別事情に合わせた就労支援及び就労準備支援等を行い、継続就労ができるよう支援する。離職者に対する就労面談を強化し、対象者に適したハローワーク等からの求人情報を検討、提供し就労支援を行う。	概ね達成	支援対象者４７名のうち、令和３年度新規支援対象者５名。一方、継続支援対象者３７名は個々が抱える課題等により就労や就労継続が厳しい状況にある。しかしながら、長引くコロナの影響等により昨年度同様、有効求人倍率が横這いの状況下にあっても、支援対象者の意欲、就労支援員やケースワーカーの支援により１４名の就労に繋がった。【就労決定者数１４名、就労・収入増による保護停廃止４名】	就労決定者数（%）		30	50
健康福祉部	くらしサポート課	2	**生活困窮者自立支援事業の推進**	就労支援員による寄添い支援や多方面の支援を通じ、稼働年齢層の生活困窮者が困窮状態から脱却できるよう支援を行う。また、就労準備支援が必要な離職者やひきこもり等の未就労者等への支援を行うために各種支援機関や事業所等との協力関係や連携を強化し、自立生活に向けた支援や就労意欲の向上を図る。生活困窮者や被保護世帯の子どもの学習支援では学習の機会や居場所の提供等によって貧困の連鎖に繋がらない対策を講じる。また、家計に課題を抱える世帯に対し、家計相談や家計管理などの支援による早期の生活再生、自立を目指す。	概ね達成	自立支援に係る相談者のうち、就労に関する支援対象者数は前年度からの継続対象者２５名に加え、令和３年度からの新たな対象者２２名の計４７名であり、これら４７名に対し就労へのサポートや求人側とのマッチングを実施し、２４名が就労実現。（51.1%） なお、令和３年度中の相談件数は全体で２０２件	今年度就労者数／要就労・転職支援者数（%）		51	75
健康福祉部	くらしサポート課	3	**ひきこもり等重層的支援体制の整備**	地域福祉計画における「地域共生社会の実現」は、社会福祉制度における国の重点施策としてSDGsに掲げられる「誰ひとり取り残さない」という理念に合致し、自治体に求められる「複合的で複層的な課題を抱える世帯や市民に対する相談支援体制の構築」はその最たる手段である。このため、広く市民が抱える複合的な課題を組織をあげてくみ取り、市民や地域との協働によって支援する体制の整備を進める。	概ね達成	健康福祉部内で「重層的支援体制整備事業」の実施に向けて実務者協議や検討会を実施し、今後の事業実施に向けてのスケジュール案を作成。当市における重層的支援体制整備事業の開始を令和６年度実施とし、次年度以降の体制整備に取り組むこととした（断らない相談支援体制）。今後は庁内各課や支援関係機関等との連携も含め、事業開始向けて協議、検討を継続する。				
健康福祉部	くらしサポート課	4	**所管事務事業におけるスマート化の推進**	生活保護並びに生活困窮者自立支援等の事務事業において、市民の利便性の向上及び行政事務の効率化を図るため次の取組によるスマート化を進める。 オンラインによる申請や相談支援、ＡＩによる相談・支援、翻訳端末機等による言語ボーダレス、タブレット端末の導入や電子決裁など。	一部未達成・成果小	翻訳端末機等による言語ボーダレスについては、市民課配備の「ポケトーク」を利用することにより新たな予算措置を講じることなく市民の利便性の向上に寄与することが可能となった。しかしながら、年度当初からCIO補佐官以下関係課（学研企画課）とで当課業務におけるスマート化の実現に向けて協議・検討を続ける中で、「市全体のスマート化計画」や「国が進めるデジタルガバメントの取組」との整合を図る必要があるため、全庁的な取り組みに合わせて実現化することが望ましいとの見解に至った。	事務改善事業数		1	2
健康福祉部	高齢介護課	1	**介護保険料収納率の向上**	適正な介護保険運営を実施し、被保険者の公平性を確保するため、介護保険料収納率の向上に努める。令和３年度では、制度の仕組みを理解いただくよう丁寧な説明を行いながら、保険料の値上げが滞納につながらないよう更なる納付勧奨と滞納対策に取り組む。 ・現年分未納者への電話、通知書の送付 ・６５歳到達未納者への電話、通知書の送付 ・債権管理台帳の活用と財産調査結果に基づく滞納整理	概ね達成	現年分未納者に対する「督促状」、「催告書」、「未納のお知らせ」の発送に加え、徴収訪問（R3年度：訪問１０件、通知６件）を実施、納付勧奨により納付成果を得た。 また、納付相談による分納誓約を締結（新規４件）し、納付推奨に努めた。 今後も督促状等の通知による納付勧奨や徴収訪問に努め、財産調査結果に基づく滞納整理に取組み、収納率向上を図り、滞納及び給付制限を回避することを目指す。	現年度普通徴収収納率（%）		(95.2)	95
健康福祉部	高齢介護課	2	**認知症高齢者等見守りネットワークの推進**	認知症対策の総合的な推進として、相談体制の充実を図るとともに認知症地域支援推進員及び、認知症初期集中支援チーム等を設置している。行方不明者や認知症高齢者が増加している地域において、子どもから高齢者まで認知症や認知症の早期対応について正しく理解し対応するための啓発として地域の関係機関や団体等と連携して認知症高齢者等見守り及び声かけ訓練を実施するなど、コロナによる新たな生活様式を踏まえた取組みを推進することで、安心して暮らし続けることができるよう、また認知症になってもだれ一人取り残さない地域づくりを目指す。	優秀に達成（困難事項・成果大等）	コロナ影響下において新たな生活様式を取り入れた中で認知症高齢者等見守り・声かけ訓練を４圏域で実施した。また、認知症地域支援推進員と啓発動画の作成・上映を行い、認知症や認知症の早期発見について正しく理解することで、安心して暮らし続けられる地域づくりの推進に寄与することができた。今後は、地域の実情に応じた内容や方法で引き続き認知症への理解を広めていけるよう啓発していく。	認知症高齢者等声かけ見守り訓練実施（か所）	第9次木津川市高齢者福祉計画・第8期木津川市介護保険事業計画	4	2
健康福祉部	健康推進課	1	**新型コロナワクチン予防接種の実施**	新型コロナウイルス感染症拡大を防止し、市民の生命及び健康を守るため、京都府や相楽医師会等と協力し、「木津川市新型コロナウイルスワクチンに係る予防接種実施計画（以下「予防接種実施計画」）」に基づき市民への新型コロナワクチン接種を円滑に実施する。	優秀に達成（困難事項・成果大等）	令和４年２月までの実施を予定していたが、接種時間の延長や予約枠の増設により、令和３年１２月１９日に希望者への接種を完了することができた。また土曜日や平日夜間にも実施し、多様な生活形態の方への接種機会の提供に努めた。追加接種（３回目）についても、国から示された接種間隔の短縮に対応するため、予約枠を増設するなど希望者への早期の接種が可能となるよう取り組んだ。	全市民の接種率（%）	予防接種実施計画	77	70
健康福祉部	健康推進課	2	**第２次すこやか木津川21プランの策定**	健やかで心豊かな生活の実現と健康寿命の延伸を図ることを目的として平成23年度に策定した木津川市健康増進計画・食育推進計画「木津川市すこやか木津川２１プラン」の第2次計画を策定する。令和３年度は令和２年度に実施した市民対象アンケート調査結果を分析し、10年間の成果を検証評価し、令和４年度～１３年度までの１０年間の目標設定を行う。	概ね達成	令和２年度に実施した市民アンケートの評価・分析によって明らかとなった本市の健康課題の改善に向け、第２次計画では８つの健康分野別に数値目標、施策展開及び行動目標を設定。木津川市健康づくり推進協議会での審議、パブリックコメントによる意見聴取を経て、第２次すこやか木津川２１プランを策定。概要版を全戸配布し市民周知を図った。今後は、目標達成に向けた取組みを推進していく。				

■令和３年度執行目標（達成状況）　健康福祉部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目（単位）	根拠計画等	R3年度実績値	R3年度目標値
健康福祉部	健康推進課	3	**インフルエンザ予防接種事務の効率化**	インフルエンザ予防接種の接種履歴の入力作業について、ＲＰＡを導入することにより、作業時間の短縮を図る。	一部未達成・成果小	インフルエンザ予防接種の接種履歴入力に係る事務の効率化を図るため、RPA導入の検討を行ったが、予診票の記載内容が医療機関によって大きく異なり、データ化は困難であることから、導入を見送ることとした。	業務時間削減（時間）		0	100
健康福祉部	健康推進課	4	**産婦健康診査の受診率の向上**	出産日が令和３年４月１日以降の産婦を対象に産婦健康診査の受診費用を公費負担とすることにより受診率の向上を図る。実施にあたり、対象者への通知や出生届時の個別案内を行うとともに、広報・ホームページによる周知を図る。	概ね達成	出産後間もない時期の産婦に対する健康診査の重要性を母子手帳交付時及び出生届時に案内し、健康診査の受診を促した。健康診査においては、身体的な診察にあわせ、精神状況に応じた評価も行い、産後うつ等の早期発見に努めた。母体の健康回復確認はもとより、健やかな児の成長発達や育児状況の把握の機会につなげる他、健診結果をもとに必要な支援につなげることもできた。	産婦健康診査受診率（%）		81	90